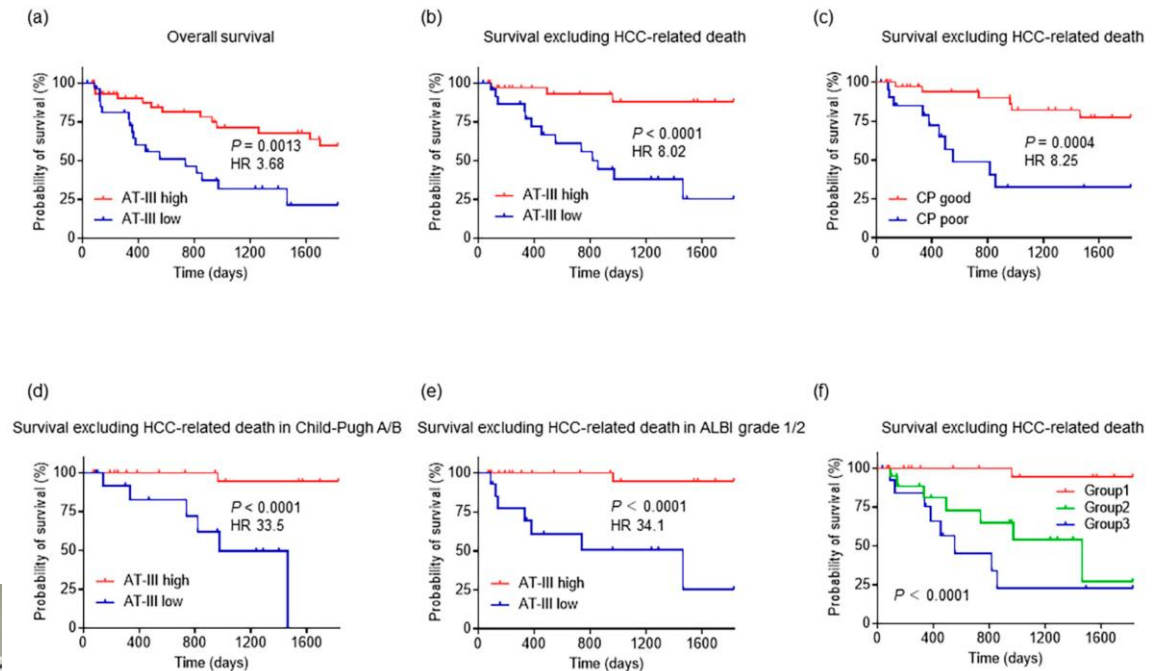
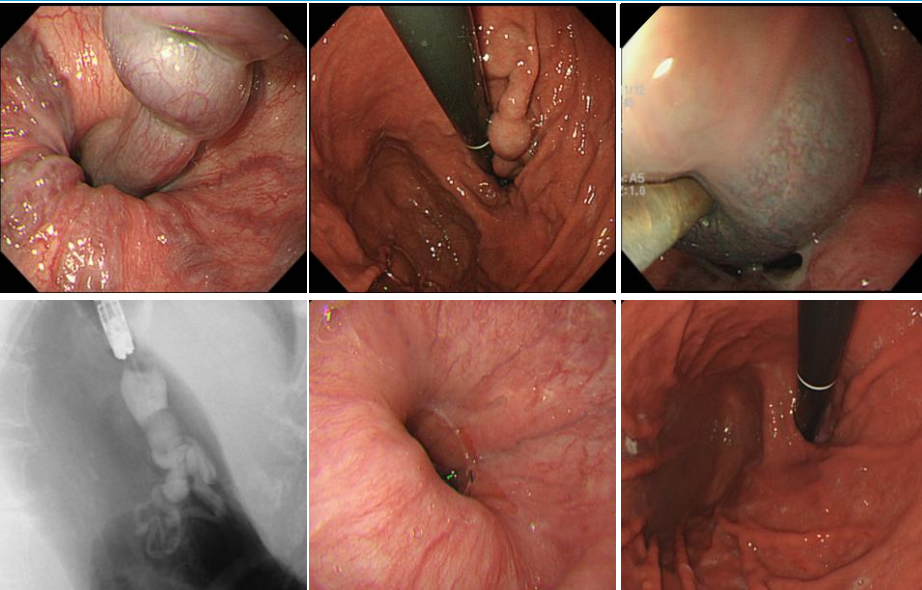


門亢症臨床研究グループ

- 門脈圧亢進症臨床研究グループは、肝硬変や特発性門脈圧亢進症に伴う門脈圧亢進症の診断・治療を通じて得られた知見を、国内外の学会や論文で発表しています。
- 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法(EIS)については、結紮術の併用による安全な方法で多くの症例に行っており、高く評価されています。
- 肝硬変症に合併した門脈血栓症(PVT)に対する薬物治療や、脾臓摘出・部分脾動脈塞栓術(PSE)の臨床的意義について検討し、国内外で発表しています。
- 北陸門脈圧亢進症研究会を毎年冬に本学で開催しています。

門亢症臨床研究グループ



Int. J. Mol. Sci. 2023, 24, 7732. <https://doi.org/10.3390/ijms24097732>

